

スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

スポーツ・オリンピック学学位プログラム(博士前期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OATQ001	Olympic Movement Studies (オリンピックムーブメント論)	1	1.0	1	秋AB	月2	大林 太郎, 澤江 幸則	オリンピックムーブメント、パラリンピックムーブメントの変容について学ぶとともに、今日の課題を解決する方途を見出し、今後のムーブメントについて模索する。具体的な内容は次のとおりである。 オリンピックムーブメントの定義、近代におけるオリンピックムーブメントの変容、日本のオリンピックムーブメント、東京2020大会のオリンピックムーブメント オリンピック・パラリンピックとアート パラリンピックムーブメント、パラリンピックの価値、日本のパラリンピックムーブメント、2020年のパラリンピックムーブメントのレガシー	GS1302 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
OATQ002	Olympic Movement and Sport Law (オリンピックムーブメントとスポーツ法)	1	1.0	1	秋AB	水1	齋藤 健司	オリンピックムーブメントに関わる法として、オリンピック憲章やアンチドーピングなどについて、どのように解釈され機能しているのかについて講義する。具体的には、オリンピック憲章の構成とその内容、オリンピック・ムーブメントに関するオリンピック憲章での定義、その法的意義、これまでのオリンピック憲章におけるオリンピック・ムーブメントの変遷を学ぶ。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) Video contents will be delivered by using the Microsoft Stream.
OATQ003	International Sport Event Management (国際スポーツイベントマネジメント論)	1	1.0	1	春ABC	集中	醍醐 笑部	このコースでは、スポーツイベントにおけるマネジメントおよびマーケティングを理解するためのフレームワークを学習する。スポーツイベントマネジメントでは、カタリストとしてのスポーツイベントとプロダクトとしてのスポーツイベントに分類し検討を行う。前半はスポーツイベントを製品、サービス、組織を活性化させる手段の一つとみなしているマネジメントの具体例を学ぶ。後半は、一般的なスポーツマネジメントの理論を学習し、スポーツイベントでの適用に焦点を当てる。	英語で授業。 対面(同時双方向型)
OATQ004	Anti-Doping (アンチ・ドーピング)	1	1.0	1	秋B	集中	渡部 厚一	スポーツ界におけるドーピングの歴史と規程や国際基準からなる世界アンチ・ドーピング機構によるアンチ・ドーピングプログラムの概要、日本で展開されているアンチ・ドーピングの全体像を紹介する。また、各国が行っているアンチ・ドーピングプログラムや近年生じているドーピング問題を題材として、スポーツのインテグリティやフェアネスに対する考え方を理解したうえで、国際比較などからアンチ・ドーピングプログラムが抱える課題やあるべき未来像を考察する。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) Details will be announced by the instructor
OATQ005	Japanese Culture (日本文化)	1	1.0	1	秋AB	集中	江上 いずみ	定員：18名程度 スポーツ・オリンピック学学位プログラム 学生が優先となります。 定員を超えた場合は抽選となります。	英語で授業。 対面 Learn Japanese culture and manners through PowerPoint explanation and try it out for yourself. Capacity: Approximately 18 students *Preference will be given to students of Master's Program in Sport and Olympic Studies. *When we are oversubscribed, there will be a draw.
OATQ006	Sport and Diversity (スポーツとダイバーシティ)	1	1.0	1	春B	集中	清水 諭, 佐藤 貴弘	スポーツにおけるダイバーシティ(多様性)に関わるこれまでの課題について取り上げ、今後の共生社会のあり方をスポーツを基軸に考えていく。具体的には、スポーツとジェンダーの問題、つまり女性のスポーツへの参加、スポーツ組織における主導的な立場についてやLGBTとスポーツについて学ぶ。また、障害者のスポーツについて学習し、理解を深める。具体的にはパラリンピックやパラリンピック以外の世界大会、また、障害(身体障害、知的障害、精神障害)の特性について、講義内で議論が可能と思われる事例を提示しながら学ぶ。	英語で授業。 対面(オンライン併用型) GS1301

OATQ007	Olympic and Paralympic Education (オリンピック・パラリンピック教育)	1	1.0	1	春AB	水2	大林 太朗, 澤江 幸則, ベントン キャロライン	この授業を通して、日本や他の国々におけるオリンピック教育やパラリンピック教育の展開について学ぶとともに、東京2020年以降も持続可能発展的に継続されるようになるにはどうしたら良いかを考える。特に日本においては、1964年東京大会時におけるオリンピック学習、1998年長野冬季大会における一校一國運動、2020年東京大会におけるオリンピック・パラリンピック教育の内容と展開、さらにこれらの教育を通して形成される人材像について学修する。	英語で授業。 対面 (オンライン併用型) GS1302
OATQ008	Taiku (Physical Education) (体育)	1	1.0	1	春AB	火4	松尾 博一	このコースでは、理論と実践の観点からスポーツ教育学や体育教育に関する今日的課題について概説し、考察していく。特に、日本国内における課題として、部活動などの運動部活動の適切なあり方や教師教育について、また、国際的な文脈の中での体育の課題、つまり教育システムが異なる環境で育ってきた人たちにどのように体育の内容を整理して教授するか、ということと言語の問題と合わせて学修する。さらに後半では、選定した体育理論を実践的な指導の場面に適用することを学修する。	英語で授業。 対面 Sekisho Field
OATQ009	Cross-Cultural Communication (異文化コミュニケーション)	1	1.0	1	秋AB	金5	ラクワール ラン ディーブ	In this course, students will learn the basics of cross-cultural communication in respect to the globalized university, and the future working environment they will face. Irrespective of your backgrounds, past affiliations and disciplines, the need will be to have good communication with people having diverse perspectives and personalities, and which is key for building relationships and success, and future careers. In other words, to be able to develop an 'international mindset'. Expert Guest Speakers as expert communicators from a highly diverse career path and with substantial practical backgrounds and experience (across countries) will be providing highly interactive workshops. 5th Cross Cultural-Communication Batch students (Oct. 2025 enroll): Register Fall AB	英語で授業。 対面 GS1302
OATQ010	Research Project Management (研究プロジェクトマネジメント)	1	2.0	1	秋AB	金1,2	ラクワール ラン ディーブ	このコースでは、プロジェクトの目的と目標に沿って、研究プロジェクトの管理、計画立案、概要構築を中心に学習する。このコースは、スポーツとオリンピック研究のためのMAプログラムに記されている学術目標と結びついており、研究プロジェクトの準備、管理さらにはプロジェクト成功を実現するように導くことを目的とする。	英語で授業。 対面
OATQ101	TIAS Internship A (TIASインターンシップ A)	3	4.0	1・2	秋C春季休業中	随時	河合 季信, ラクワール ラン ディーブ, 山口 拓	国内外の競技連盟やオリンピック委員会、パラリンピック委員会などのスポーツ組織や、国や自治体におけるスポーツ行政組織、国際展開しているスポーツ関連企業などにおいて、4週間のインターンシップ先を決定し、スポーツ組織や競技大会などの現場における実践的知識を学びながら、キャリアパスの構築につなげる。秋学期(2月~3月)に受け入れ可能な組織にて行う。なお、A、Bのいずれかを選択する。	英語で授業。 対面 Lectures (consultation/discussions, pastoral support; orientation included) are conducted in English.
OATQ102	TIAS Internship B (TIASインターンシップ B)	3	4.0	1	春C夏季休業中	随時	河合 季信, ラクワール ラン ディーブ, 山口 拓	国内外の競技連盟やオリンピック委員会、パラリンピック委員会などのスポーツ組織や、国や自治体におけるスポーツ行政組織、国際展開しているスポーツ関連企業などにおいて、4週間のインターンシップ先を決定し、スポーツ組織や競技大会などの現場における実践的知識を学びながら、人的ネットワークを構築し、実践的スキルと知識を身につけ、キャリアパスの構築につなげる。1年次春学期2年次秋学期に受け入れ可能な組織にて行う。なお、A、Bのいずれかを選択する。	英語で授業。 対面 Lectures (consultation/discussions, pastoral support; orientation included) are conducted in English.
OATQ103	TIAS Research Project (TIAS課題研究)	2	4.0	2	春ABC	随時	深澤 浩洋, 齋藤 健司, 西保 岳, ラクワール ラン ディーブ, 渡部 厚一, 大石 純子, 河合 季信, 澤江 幸則	学生は、以下のような研究専攻の1つに基づいて独自の研究プロジェクトを実施し、最終報告書を作成する。過去に書かれた最終報告書を先行研究として活用しつつ、これまでに取り組みがなされていない課題に関して、実践的にアプローチしていく。 1) オリンピック・パラリンピック教育 2) スポーツマネジメント 3) スポーツ医学 4) ティーチング、コーチングと日本文化	英語で授業。 対面

OATQ201	Seminar in Olympic and Paralympic Education I (オリンピック・パラリンピック教育演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	随時	深澤 浩洋, 大林 太郎, 澤江 幸則	オリンピック・パラリンピック教育を専門とする指導教員(148 深澤浩洋、266 澤江幸則)のもと、各自の研究計画に基づき、オリンピック・パラリンピック教育に関する先行研究を整理し、文献研究や実務的研究を行うことでオリンピック・パラリンピック教育に関する研究計画を深める。また、実際に各国で行われているオリンピック・パラリンピック教育についての情報を集める。	英語で授業。 対面
OATQ202	Seminar in Olympic and Paralympic Education II (オリンピック・パラリンピック教育演習 II)	2	2.0	1	春ABC	随時	深澤 浩洋, 大林 太郎, 澤江 幸則	オリンピック教育、パラリンピック教育を専門とする指導教員のもと、オリンピック教育やパラリンピック教育に関する先行研究を検討し、研究論文を書くための文献資料をまとめ、それについて発表しディスカッションする。合わせて、プレゼンテーションの能力を向上させる。毎回プレゼンテーションを行い、オリンピック・パラリンピック教育の論文としてふさわしい要素を備えるようにする。	英語で授業。 対面
OATQ203	Seminar in Sport Management I (スポーツマネジメント演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	水5, 随時	齋藤 健司, 醍醐 笑部, 姜 泰安	スポーツマネジメントを専門とする指導教員のもと、教員による話題提供及び国内外の事例に関する研究の紹介を交えながら、スポーツマネジメントに関わる研究方法について学ぶ。また、履修学生の課題に応じたスポーツマネジメント関連の研究論文を購読し、その内容について批評的にまとめて発表し、ディスカッションしながら研究テーマを深めていく。	英語で授業。 対面 Use both face-to-face and online (Synchronous) Classroom is GS1302. In principle, weekday and period is Wed5.
OATQ204	Seminar in Sport Management II (スポーツマネジメント演習 II)	2	2.0	1	春ABC	水5, 随時	齋藤 健司, 醍醐 笑部, 姜 泰安	本演習では、スポーツマネジメントを専門とする指導教員のもと、履修学生による各自の研究テーマに基づいた最終課題研究論文に関する進捗状況についてプレゼンテーションを行い、スポーツマネジメントに関わる研究について議論を行う。加えて、日本国内のスポーツイベント、スポーツ関連団体に関するフィールドワークを行い、スポーツマネジメントの現場における現状と課題について把握するとともに、その課題の解決策について討論する。	英語で授業。 対面
OATQ205	Seminar in Sport Science and Medicine I (スポーツ医科学演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	随時	西保 岳, 高木 英樹, 渡部 厚一, ラクワール ランディープ	スポーツ医科学を専門とする指導教員のもと、研究論文の作成に必要なスポーツ医科学の論文構成方法などについて学習する。また、必要な実験計画や方法について少人数にてディスカッションし、研究を遂行する上で必要な能力を身に着ける。 論文作成に必要な、スポーツ医科学に関する研究方法論の基礎的な知識と技能を身に付け、実験計画、データ処理等の専門的な知識を身につける。	英語で授業。 対面 Each academic supervisor, of the student who will do the research project/thesis under the chosen academic/research supervisor informs the students about the style of this seminar.
OATQ206	Seminar in Sport Science and Medicine II (スポーツ医科学演習 II)	2	2.0	1	春ABC	随時	西保 岳, 高木 英樹, 渡部 厚一, ラクワール ランディープ	スポーツ医科学を専門とする指導教員のもと、受講生それぞれが取り組んでいる研究論文のプレゼンテーションを行い、スポーツ医科学の方法論の視点からディスカッションする。一人一人の研究上の課題について検討し、より良い研究論文になるようディスカッションを行う。必要な実験計画や方法についてもディスカッションしながら検討する。	英語で授業。 対面 Each academic supervisor, of the student who will do the research project/thesis under the chosen academic/research supervisor informs the students about the style of this seminar.
OATQ207	Seminar in Teaching, Coaching and Japanese Culture I (ティーチング、コーチングと日本文化演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	随時	河合 季信, 仙石 泰雄, 大石 純子, 松尾 博一	ティーチング、コーチングまたは武道学を専門とする指導教員(大石純子、河合季信、仙石泰雄、松尾博一)の指導のもと、これまでに研究されてきた先行研究について取り上げ、それぞれの研究課題や論文の構成について、ディスカッションする。それを踏まえて、自身の関心を深め、研究論文の作成に資する資料やデータを収集する。研究課題の設定、研究計画のデザイン、データの収集と処理、プレゼンテーションスキルについて学ぶ。	英語で授業。 対面 The chosen academic supervisor informs the students about the style of this seminar.
OATQ208	Seminar in Teaching, Coaching and Japanese Culture II (ティーチング、コーチングと日本文化演習 II)	2	2.0	1	春ABC	随時	河合 季信, 仙石 泰雄, 大石 純子, 松尾 博一	この演習では、ティーチング、コーチングまたは武道学を専門とする指導教員(大石純子、河合季信、仙石泰雄、松尾博一)の指導に基づいて、研究論文の作成に資する実験方法やデータ収集と分析方法について学ぶ。研究課題を設定し、自らの研究についてのプレゼンテーションを実施する。	The chosen academic supervisor informs the students about the style of this seminar. 英語で授業。 対面

OATQ209	Olympism and Legacy (オリンピックズムとレガシー)	1	1.0	1	秋AB	木3	深澤 浩洋	オリビズムとオリンピック・レガシーについて、それらの意義を学ぶとともに、今後の国や地域等に合ったレガシーのあり方を考え、これからのオリンピック・レガシーについて構想することを通じてオリビズムを反映したレガシーに対する洞察力を持つことを目指す。 オリビズムの要諦を確認したのち、オリンピック・レガシーが言及されるようになった契機やその具体的な導入の経緯等を講ずる。それらを踏まえて、スポーツメカイベントの実際を調査し、レガシーの理念を反映したアクションを構想し、プレゼンテーションを行う。	英語で授業。 対面
OATQ210	Sport Organisation and Governance (スポーツ組織とガバナンス論)	1	1.0	1	秋BC	集中	杉山 翔一	主に国際スポーツ競技連盟(IF)や国内スポーツ競技連盟(NF)で働く実務家をゲスト講師として招き、IFやNFの組織構造やそこでの業務について実務レベルでその内容を理解するとともに、国内外のスポーツ組織に関わるステークホルダーの役割と責務を把握することを目的とする。また、専門家による講義を通じて国際オリンピック委員会(IOC)が提唱するステークホルダー間の相互作用に注目しながら、「オリンピックムーブメント」を展開するシステム及びスポーツ界のガバナンスのグローバル・モデルについて議論する。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)
OATQ211	International Sport Marketing (国際スポーツマーケティング)	1	1.0	1	秋AB	木4	姜 泰安, 醍醐 笑部	スポーツビジネスに関するマーケティングには、スポーツサービス(するスポーツとみるスポーツ)をプロデュースし、提供する「スポーツのマーケティング(marketing of sport)」と、企業がスポーツを利用してプロモーション活動を行う「スポーツによるマーケティング(marketing through sport)」の2種類がある。前者については、スポーツを実施したり、見たりする、スポーツ消費者のニーズを理解し、そのニーズを満たすスポーツサービスを効率よく提供するための戦略が講義内容の中心となる。具体的には、マーケティング戦略、スポーツ消費者行動のメカニズム、消費者の特性やニーズを把握するためのマーケティングリサーチなどについて学習する。後者については、企業がスポーツチーム・クラブやスポーツイベントのスポンサーとなり、スポーツを利用したマーケティング活動を行うという「スポーツスポンサーシップ」についての知識を習得する。	英語で授業。 対面
OATQ212	Sport Technology and Biomechanics (スポーツ工学とバイオメカニクス)	1	1.0	1	春AB	木5	工藤 重忠, 小池 関也, 松田 昭博	スポーツ工学とそれに関連するバイオメカニクスの背景と最新の情報の習得に向けて、スポーツに関連した空気や水中での流体工学、スポーツ用具開発のための基礎知識、スポーツ用のウェア開発のための基礎知識を学ぶ。	2024年度以降開講せず。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)
OATQ213	Sport Medicine (スポーツ医学)	1	1.0	1	春ABC	応談	渡部 厚一, 森 利雄	スポーツ活動中に生じる外傷、障害、内科的問題の診断・治療・リハビリテーション、年齢や性差による特徴、スポーツマシメントにおける突然死等のアクシデントと救護活動の実際について科学的知見のみならず、スポーツ行政や政策、マシメント運営の視点から解説し、スポーツ活動におけるスポーツ医学の役割について学ぶ。また、アスレティックリハビリテーションやコンディショニングの最新情報やあんま、鍼灸などの東洋医学のスポーツ医学への応用についても紹介する。	英語で授業。 対面 Partially online on demand. Site: GSI 302 and SMIT in Univ. of Tsukuba Hospital
OATQ214	Exercise Physiology and Human Performance (運動生理学とヒューマンパフォーマンス)	1	1.0	1	春AB	月6	小野 誠司, 西保 岳, ラクワール ランディープ, 松井 崇, 藤井 直人, 岡本 正洋	ヒューマンパフォーマンスに関連する運動生理学的背景と最新の動向を修得するために、呼吸循環や体温調節に関する生理学知識、動体視力等に関連した神経生理学、運動によって変化する脳機能、運動習慣に関連した血管機能変化、ヨガ等の東洋的身体技法の生理学的效果について学ぶ。	2024年度以降開講せず。 英語で授業。 対面
OATQ215	Elite Sport Coaching (エリートスポーツコーチング論)	1	1.0	1	秋AB	集中	仙石 泰雄	一流競技者のパフォーマンス向上に関するコーチング、トレーニング理論及び方法を学び実践する。特に、高強度トレーニング、ファンクショナルトレーニングの処方にも焦点をあて、様々な最新トレーニング用具を活用する方法について学習し、特定の運動種目を対象としたトレーニングプログラムを作成する。	英語で授業。 対面 GSI302
OATQ216	Budo (武道)	1	1.0	1	春B	集中	大石 純子	日本の武道について学ぶために茨城県鹿嶋市で行われている古武道演武の視察や剣道体験を通して学ぶ。スタディーツアーも含む。	Capacity: Approximately 10 students *This course is only for students of Master's Program in Sport and Olympic Studies. 英語で授業。 対面 同名科目01EH083は開講。

OATQ218	スポーツ工学・バイオメカニクス・運動生理学	1	1.0	1	春AB	木5	<p>工藤 重忠, 藤井 直人, 西保 岳, ラクワール ランディープ, 小野 誠司, 小池 関也, 松井 崇, 岡本 正洋, 松田 昭博</p>	<p>ヒューマンパフォーマンスに関連する運動生理学およびバイオメカニクスの背景と最新の動向を修得するために、呼吸循環や体温調節に関する生理学、動体視力等に関連した神経生理学、運動によって変化する脳機能、運動習慣に関連した血管機能変化、ヨガ等の東洋的身体技法、スポーツに関連した空気や水中での流体力学、スポーツ用具・ウェア開発の基礎知識などを学ぶ</p>	<p>英語で授業。 対面(オンライン併用型)</p>
---------	-----------------------	---	-----	---	-----	----	---	--	--------------------------------